～　令和元年東日本台風から六年　～

阿武隈川における治水対策の状況

令和7年10月24日

国土交通省　福島河川国道事務所

阿武隈川における治水対策の状況【概要】

◯令和元年東日本台風では阿武隈川流域において、既往最大の洪水により堤防が決壊するなど各地で甚大な被害が発生したことから、国、県、沿川市町村により「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」を策定し、ハード・ソフト両面で治水対策を推進している。

阿武隈川本川等の主要事業（国）

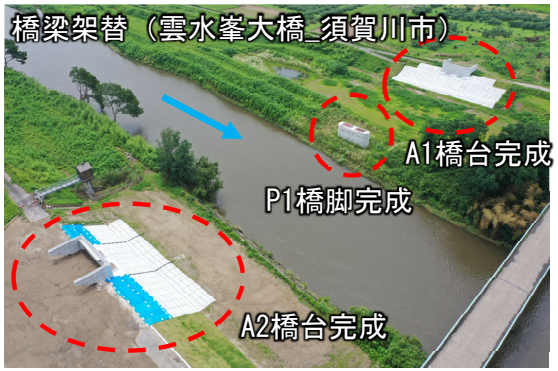
●河道掘削（全川）

全体計画約230万m^3のうち、これまで約170万m^3（約8割）の掘削を完了。
令和7年9月、須賀川地区の河道掘削に着手。



●橋梁架替（須賀川市）

雲水峯大橋、小作田橋の2橋について、堤防整備と橋梁架替を実施中。



●遊水地整備（鏡石町、矢吹町、玉川村）

沿川3町村の地権者の皆様のご協力を得て、用地協議、代替地整備、埋蔵文化財調査等を実施中。
遊水地関連では初の工事として、令和6年11月から鈴川橋下部工工事を実施中。

●阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの変更（全体事業費・事業期間）

令和7年9月、阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの内、国が実施する改良復旧事業（大規模災害関連事業）の計画を変更。

阿武隈川緊急治水対策プロジェクト（国：阿武隈川上流）の変更

■令和元年台風19号に伴う洪水規模への対応として、流域の関係機関が連携し実施するハード・ソフト対策（阿武隈川緊急治水対策プロジェクト）のうち、国が実施する改良復旧事業（大規模災害関連事業）の計画を変更しました（令和７年９月変更）。

※事業費と事業期間については、今後の改良復旧工事の進捗に伴う現場条件の変更等により検討・見直しが生じる可能性があります

■全体事業費 ~~約1，866億円~~ ⇒ 約2，667億円

■事業種別

○改良復旧事業

国：阿武隈川上流（福島県内）

全体事業費 ~~約999億円~~ ⇒ 約1，800億円

事業期間 令和元年度～~~令和10年度~~ ⇒ 令和15年度

国：阿武隈川下流（宮城県内）

全体事業費 約241億円

事業期間 令和元年度～令和7年度

福島県： 約 66億円

宮城県： 約 18億円

○災害復旧事業

国：阿武隈川上流（福島県内）

全体事業費 約130億円

事業期間 令和元年度～令和2年度

国：阿武隈川下流（宮城県内）

全体事業費 約 99億円

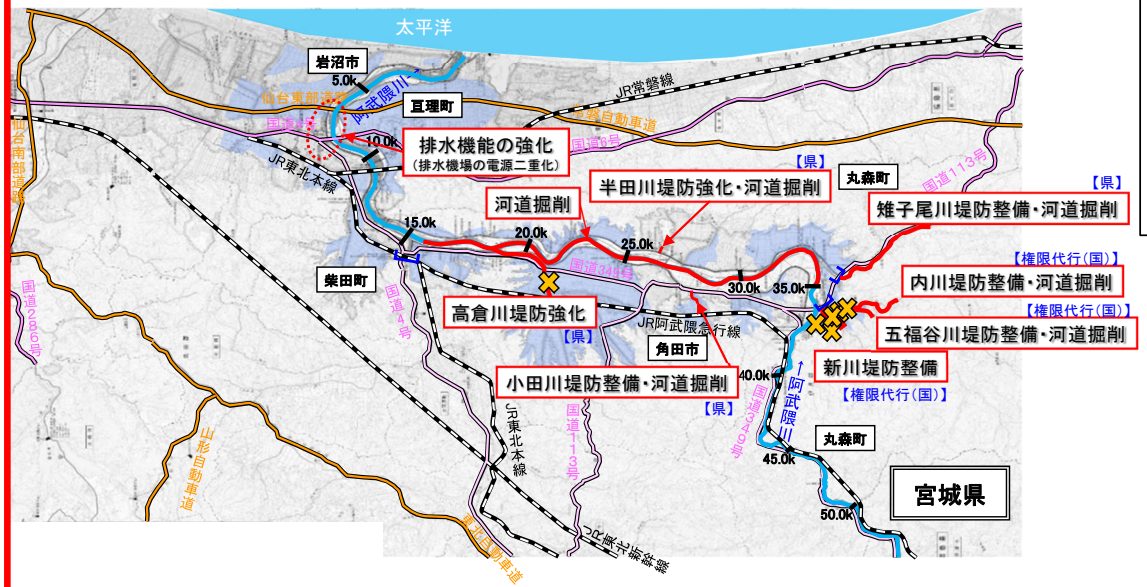
事業期間 令和元年度～令和2年度

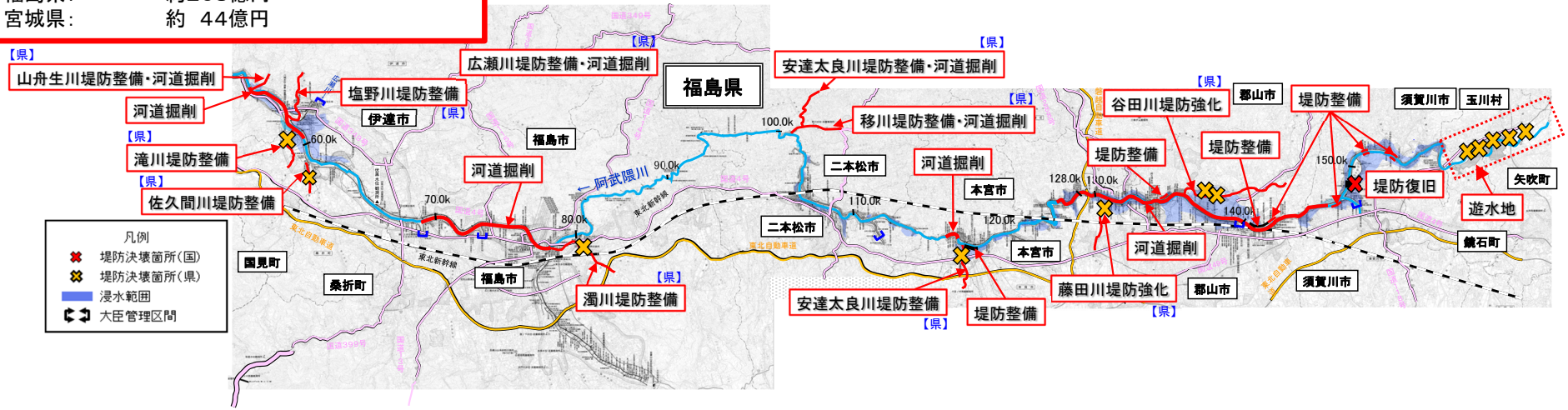
福島県： 約268億円

宮城県： 約 44億円

位置図







阿武隈川緊急治水対策プロジェクト（国：阿武隈川上流）の変更概要

■阿武隈川では令和元年東日本台風（R1.10）による甚大な洪水被害を受け、同規模の洪水に対し堤防からの越水を回避させることを目標に令和2年1月に大規模災害関連事業が採択されました。

■引き続き、遊水地整備等の改良復旧を進めるとともに、物価増等の社会的要因のほか、詳細調査により発生した課題等に対応するため、事業期間を延長し、必要な予算を確保しながら事業を推進してまいります。

■全体事業費

増額　約８０１億円

変更事業費　約１，８００億円 ※工事諸費含む

当初事業費　約　　９９９億円 ※工事諸費含む

■事業期間

期間　５年延長

変更　令和元年度～令和　１５年度

当初　令和元年度～令和　１０年度

＜変更内容＞

〇物価上昇・働き方改革等による増・・・・・・・・・・・・・・ 増 約２４１億円

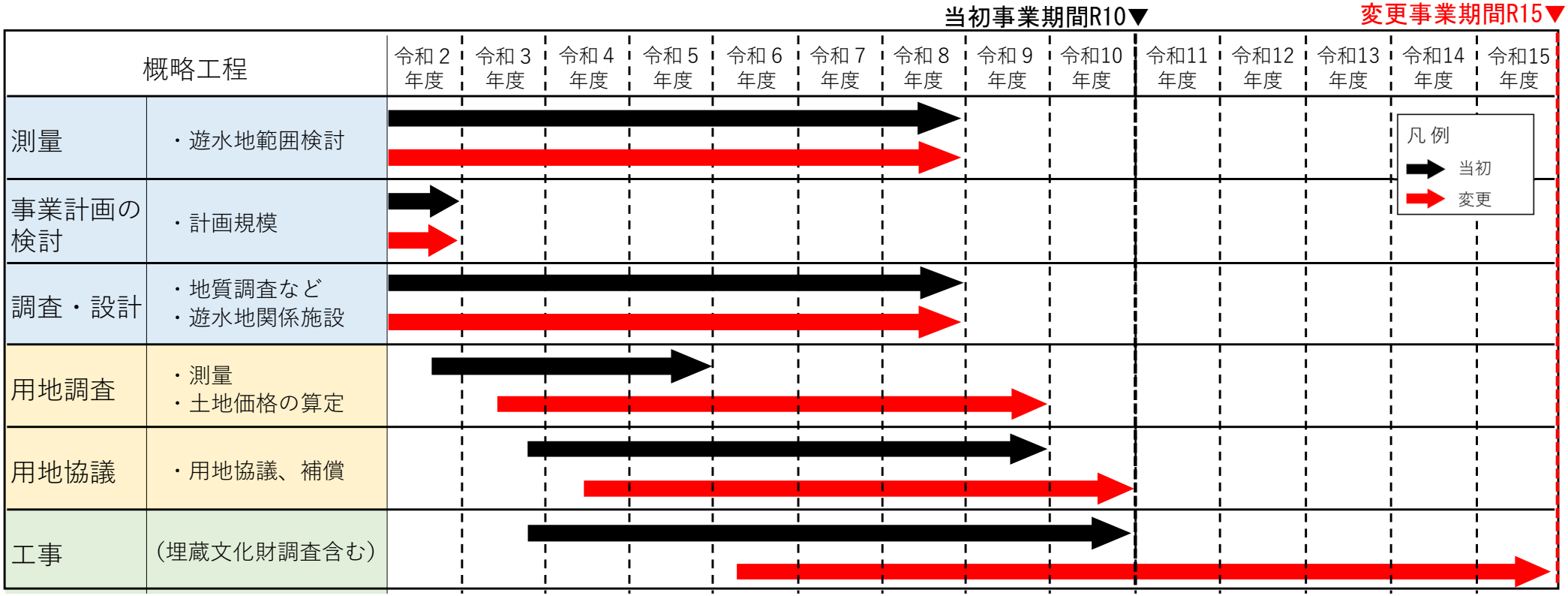
〇調査等の進捗に伴う課題等の対応による増・・・・・・・・ 増 約６０３億円

〇コスト縮減（発生土処理の見直し）・・・・・・・・・・・・ 減 約　４３億円

事業期間の変更（５年延長）＜令和元年度～令和１０年度→令和１５年度＞

■働き方改革等による社会的要因のほか、遊水地範囲の拡大など詳細調査等により判明した課題への対応が必要であることから、事業期間を5年延長します。

阿武隈川緊急治水対策プロジェクト（上流遊水地群整備）　概略工程



注）上記プロジェクト工程については、今後の調査状況等により変更する可能性もあります。

阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの効果

「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」の治水対策を実施することにより、令和元年東日本台風と同規模の洪水が発生した場合、事業実施前と比べて『河道掘削と遊水地群整備』により水位を低下させ、堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の低減を図る。

福島市 河道掘削＋遊水地群整備で期待される効果･･･**約 0．1m 水位低下**

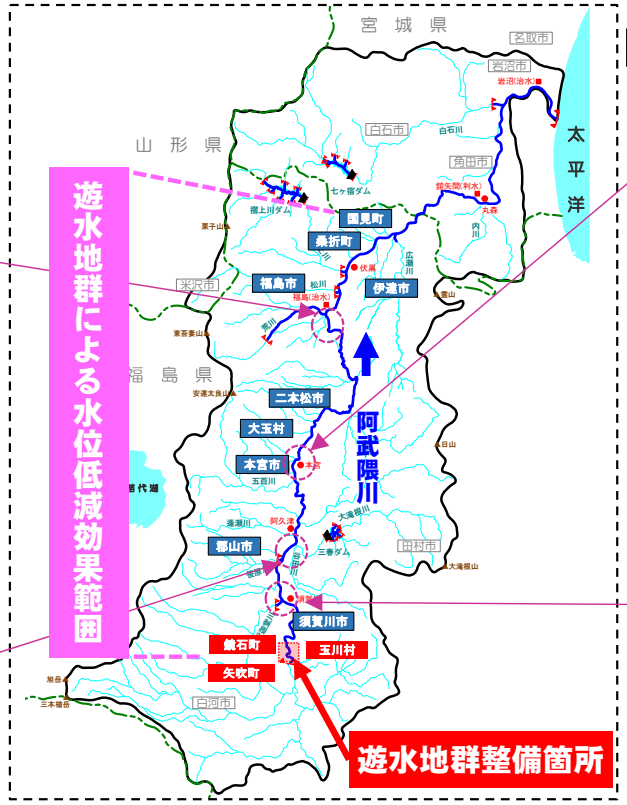




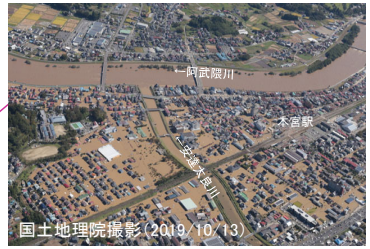
郡山市 河道掘削＋遊水地群整備で期待される効果･･･**約 1．0m 水位低下**







本宮市 河道掘削＋遊水地群整備で期待される効果･･･**約 0．5m 水位低下**



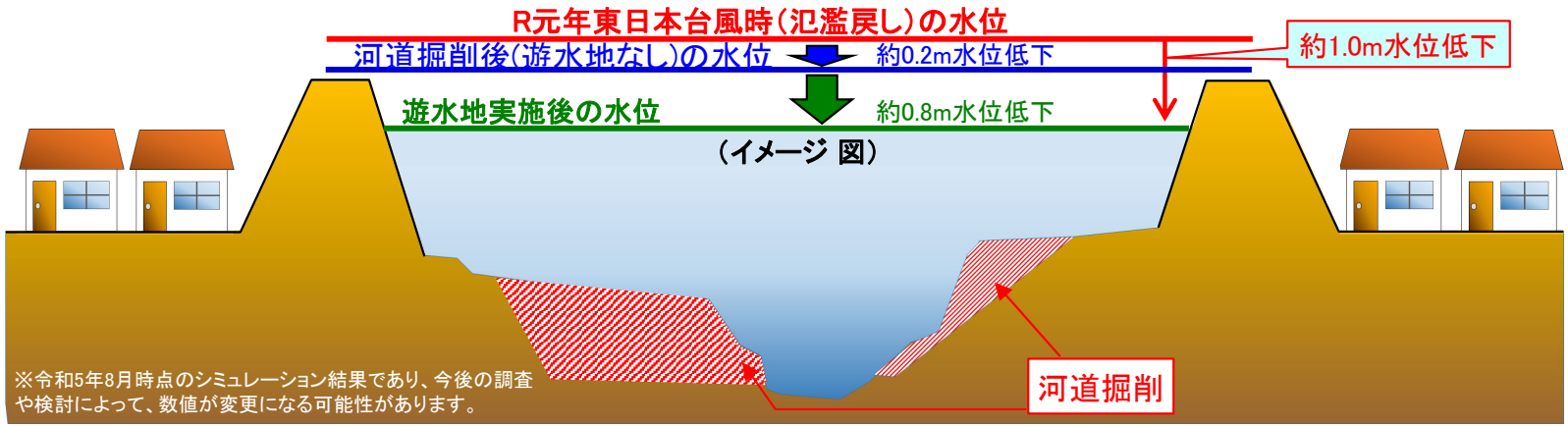


須賀川市 河道掘削＋遊水地群整備で期待される効果 **約 2．4m 水位低下**





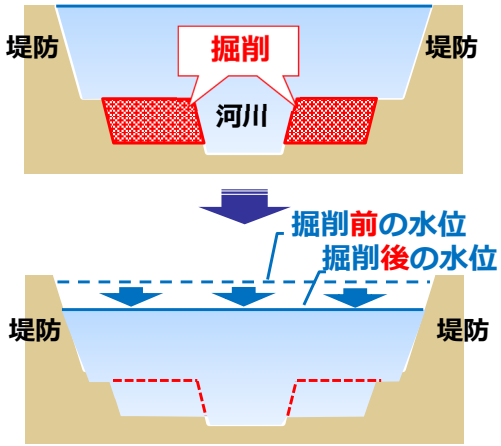
【阿久津水位観測所地点（郡山市）の水位低減効果】



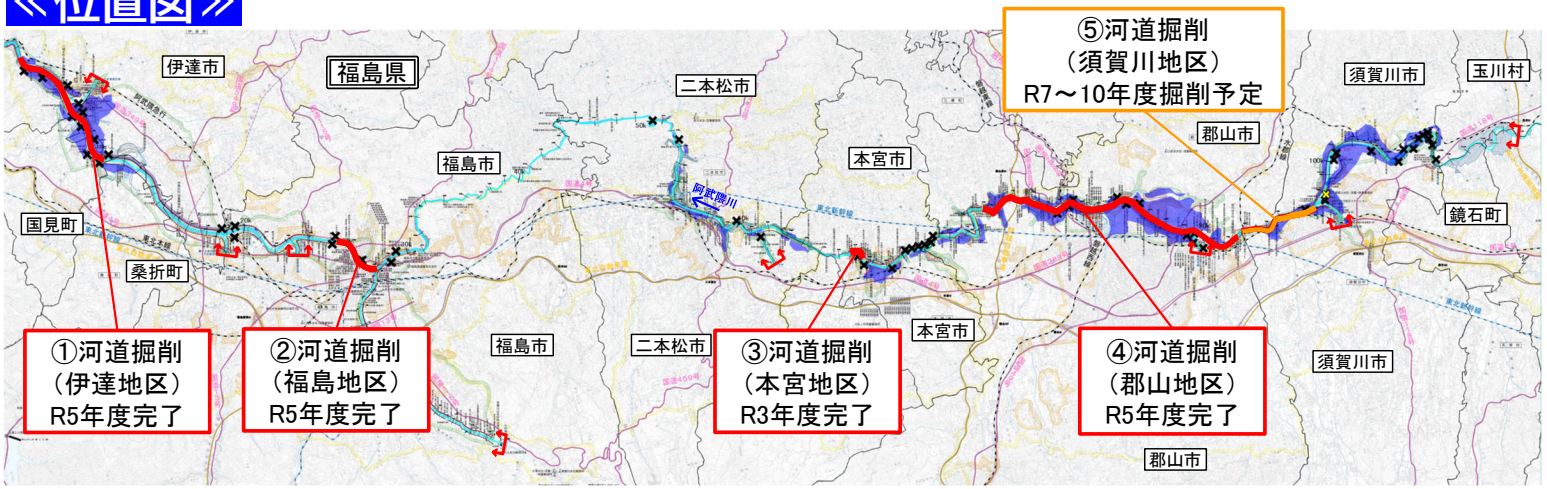
河道掘削の進捗状況

〇浸水被害軽減に向け、河道を掘ることで水を流れやすくして、河川の水位を下げる対策を実施中。
〇令和6年3月末までに全体計画約230万m^3のうち、約8割となる約170万m^3を掘削。
（郡山市街地の河道掘削（約80万m^3は令和6年3月末までに完了）
〇R7～10年度まで郡山市街地から上流（須賀川地区）の掘削を実施し、完成を目指す。

≪対策イメージ≫



≪位置図≫



≪状況写真≫

①伊達地区（掘削完了R5.12）



②福島地区（掘削完了R5.12）



③本宮地区（掘削完了R3.10）



④郡山地区（掘削完了R6.3）



⑤須賀川地区（R7以降掘削予定）



郡山市における治水対策

○ 阿武隈川緊急治水対策プロジェクト等に基づき、
郡山市内各地での治水対策（堤防強化・整備/河道掘削は完了。



河道掘削（郡山市田村町徳定）

掘削土量　約2．4万m3

施工前（R4.10月撮影）

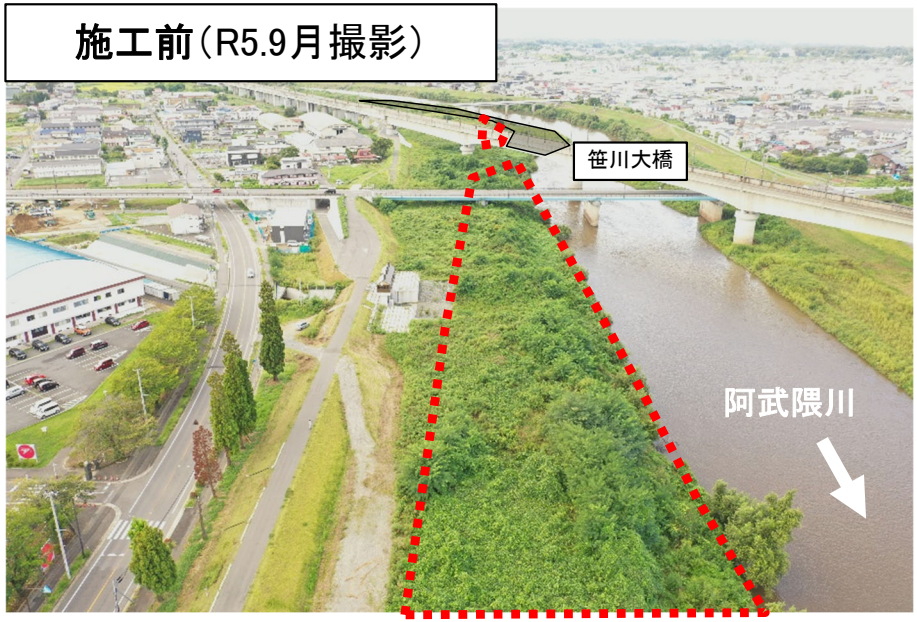


施工後（R5.3月撮影）



掘削土量　約1．9万m3

施工前（R5.9月撮影）



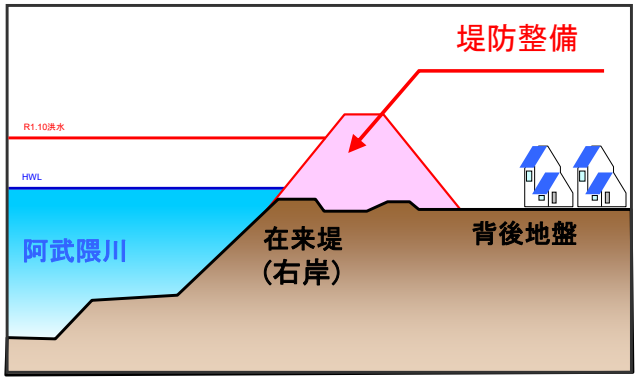
施工後（R6.3月撮影）



堤防整備実施状況（郡山市田村町徳定・御代田）



≪対策イメージ（御代田地区）≫





着手前状況



堤防整備完了





令和3年5月　御代田地区下流工区の整備が完成

河道掘削実施状況（郡山市富久山町）

掘削土量　約4．2万m3

施工前（令和3年9月撮影）



施工後（令和4年3月撮影）



掘削土量　約6．6万m3

施工前（令和2年10月撮影）



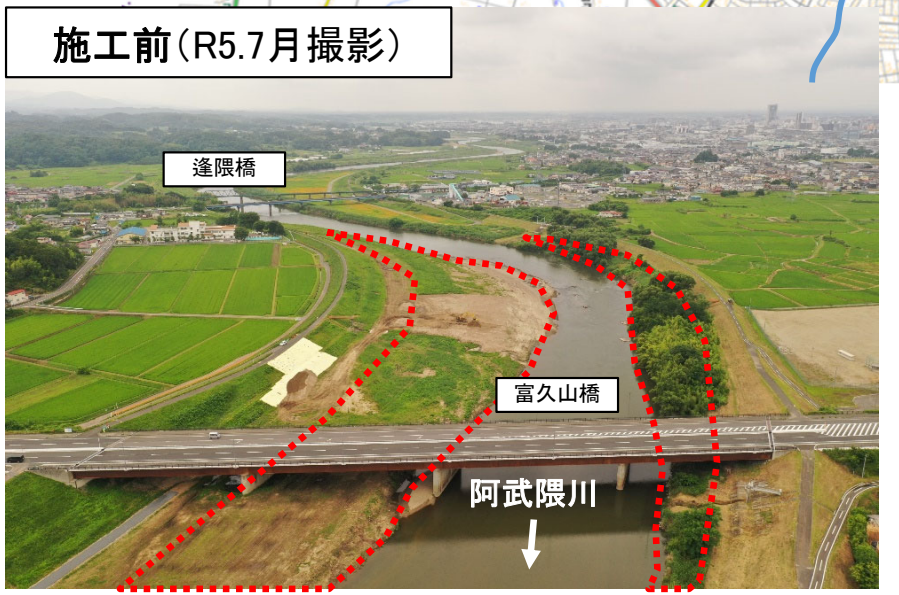
施工後（令和3年6月撮影）



河道掘削実施状況　（郡山市富久山町）



施工前（R5.7月撮影）



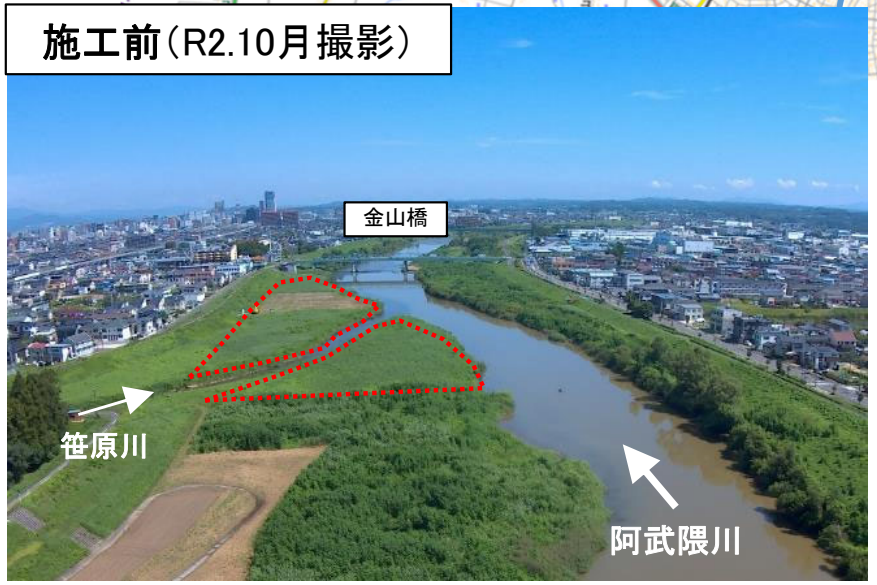
施工後（R5.12月撮影）



河道掘削実施状況　（郡山市安積町日出山）



施工前（R2.10月撮影）



施工後（R4.4月撮影）



河道掘削実施状況　（郡山市字道場）



施工前（R4.4月撮影）



施工後（R5.3月撮影）

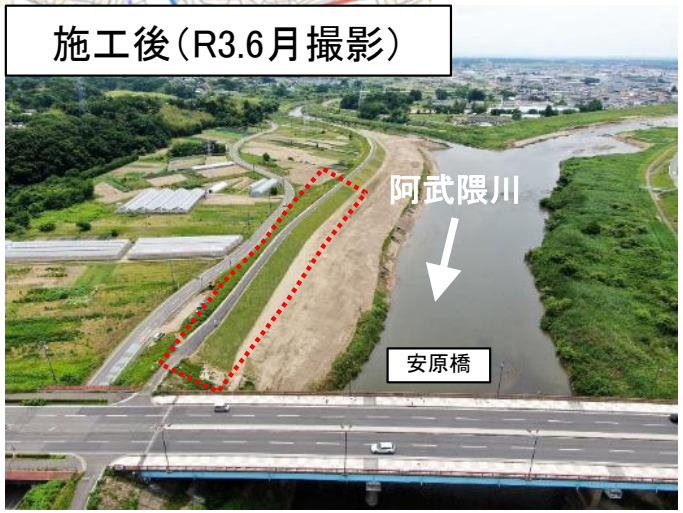


堤防強化実施状況（郡山市安原町南川原）



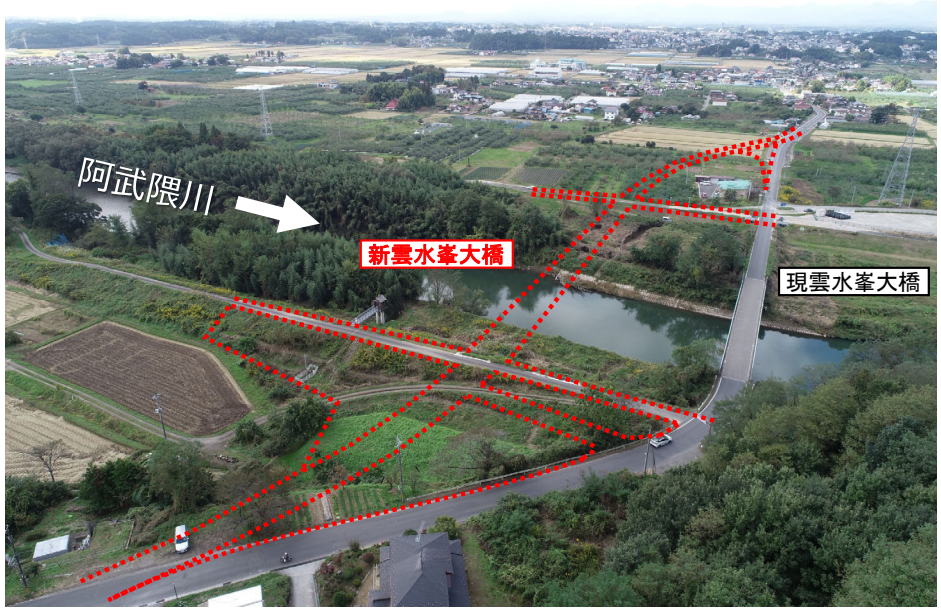




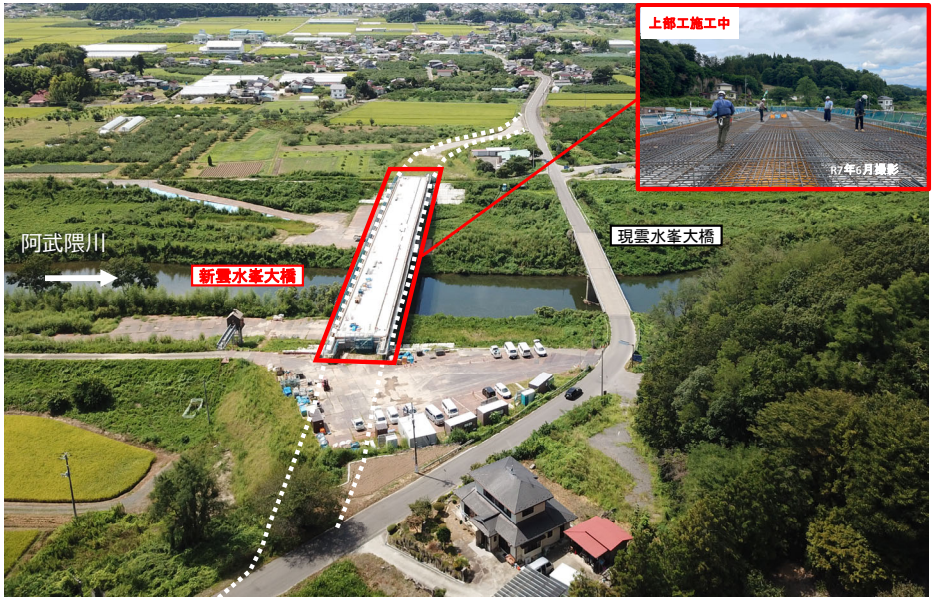


橋梁架替（雲水峯地区＿須賀川市）

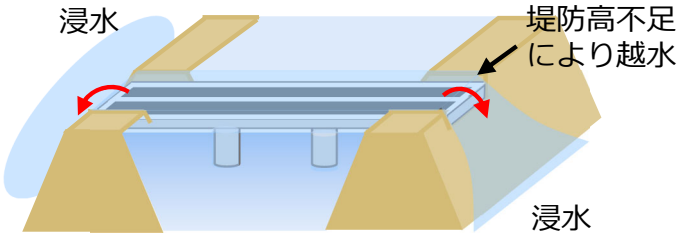
○洪水を氾濫させないために、橋梁を架け替え、堤防をかさ上げする。
○R6年度までに橋台2基、橋脚1基の施工完了。
○R7年度は上部工を施工中。
○R8年度以降に取付道路工事、旧橋撤去を施工予定。

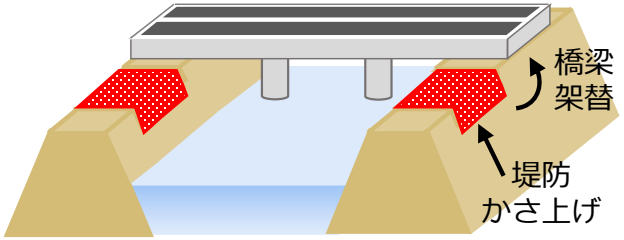


工事前（2020年10月）



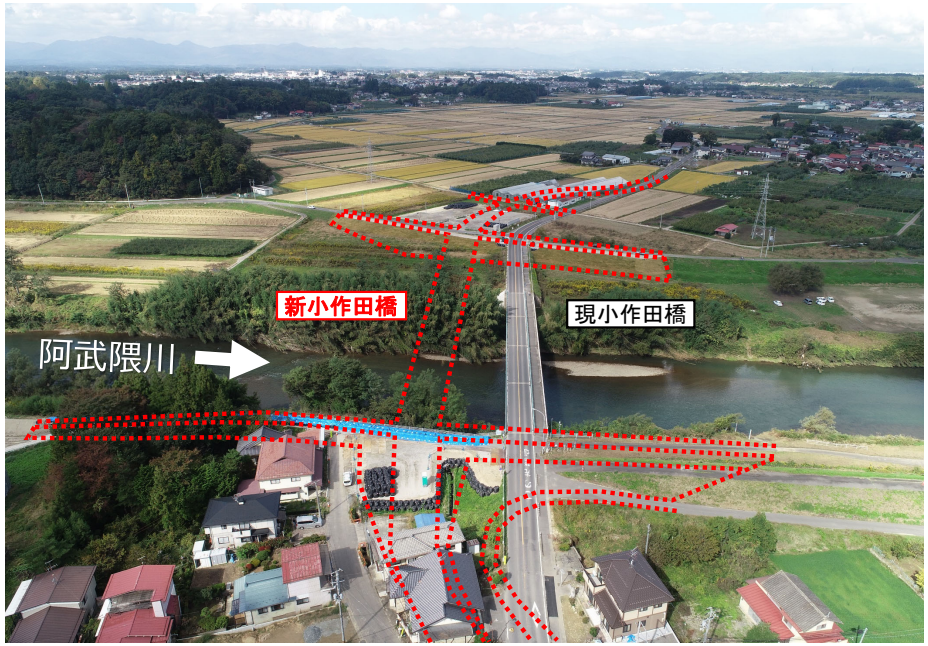
工事中（2025年8月）





橋梁架替（小作田地区__須賀川市）

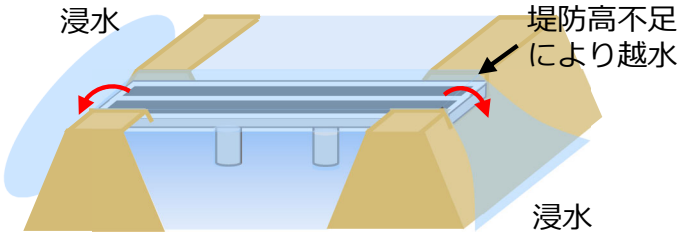
○洪水を氾濫させないために、橋梁を架け替え、堤防をかさ上げする。
○R6年度までに橋台1基、橋脚1基の施工を完了。
○R7年度は残りの橋台1基、橋脚1基を施工中。
○R8年度以降、上部工、取付道路、旧橋撤去を施工予定。

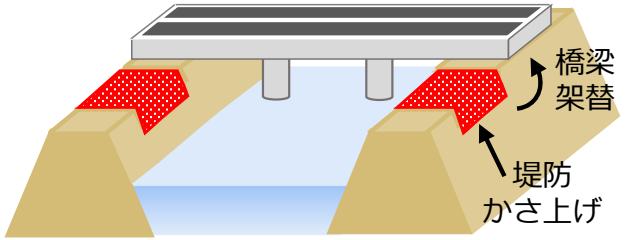


工事前（2020年10月）



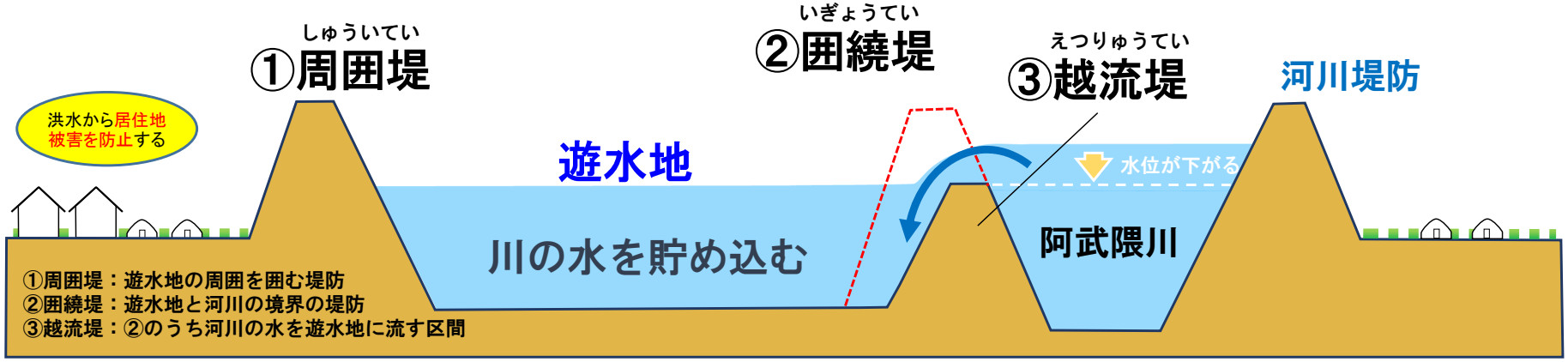
工事中（2025年8月）





遊水地群整備　遊水地の役割

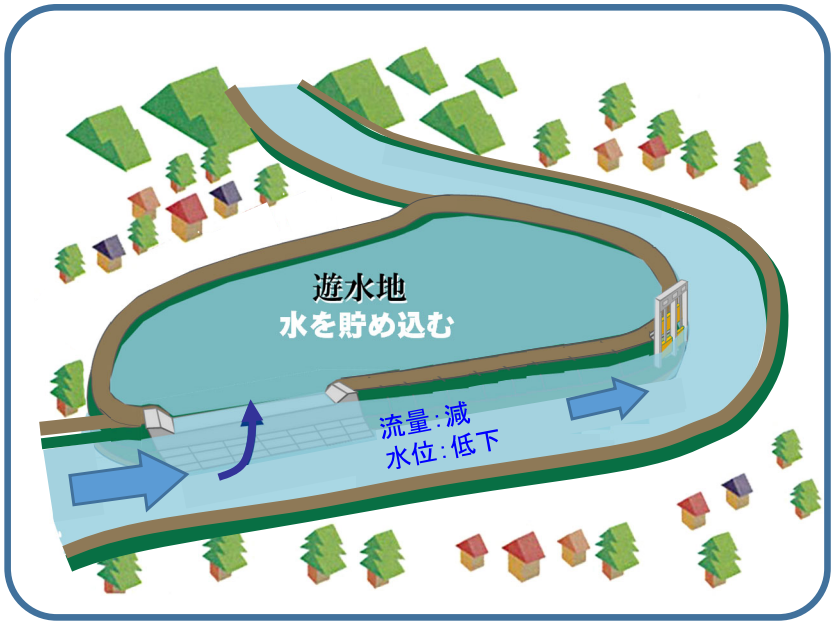
○遊水地は、洪水時に川の水を一時的に貯め込み、地先と下流側の水位を下げ、浸水被害を軽減。



【平常時のイメージ】



【洪水時のイメージ】

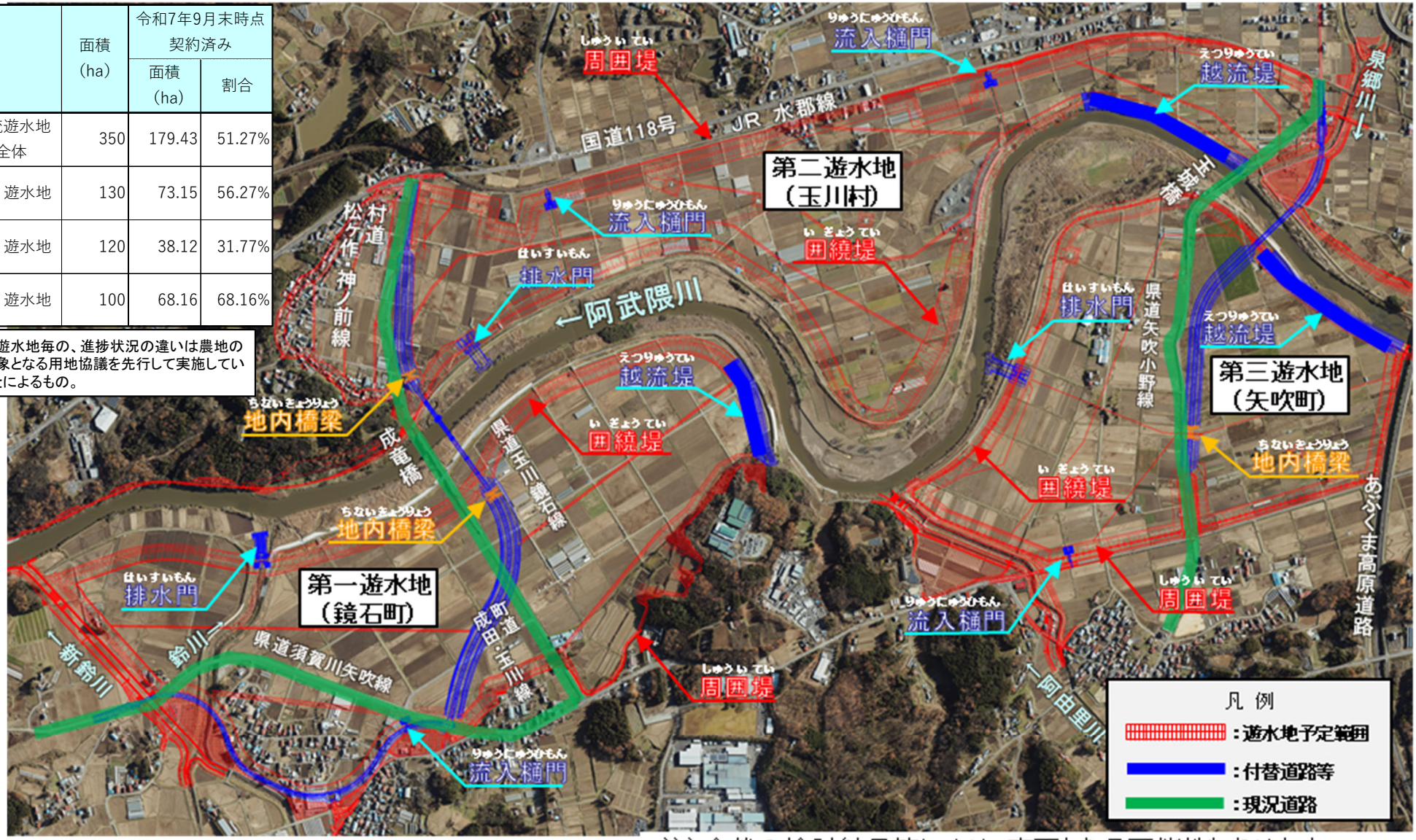


遊水地群整備（鏡石町、矢吹町、玉川村）

〇3つの遊水地整備を実施。（全体面積約350ha、洪水調節容量約1,500万m3程度）
〇令和2年度からこれまで8回の事業説明会を開催。（参加者：延べ2,641人）
〇流域の浸水被害軽減に向け、この遊水地では、地権者の皆様から貴重な土地を提供いただいた上で地盤を掘り下げ容量を確保。
〇そのため、家屋移転・土地の提供等をいただく皆様を含め、地域の方々のご理解・ご協力により、令和4年10月から用地協議に着手。
〇令和15年度の完成を目指し、地権者の皆様と用地協議中。

	面積（ha）	令和7年9月末時点 契約済み	
		面積（ha）	割合
上流遊水地全体	350	179.43	51.27%
第１遊水地	130	73.15	56.27%
第２遊水地	120	38.12	31.77%
第３遊水地	100	68.16	68.16%

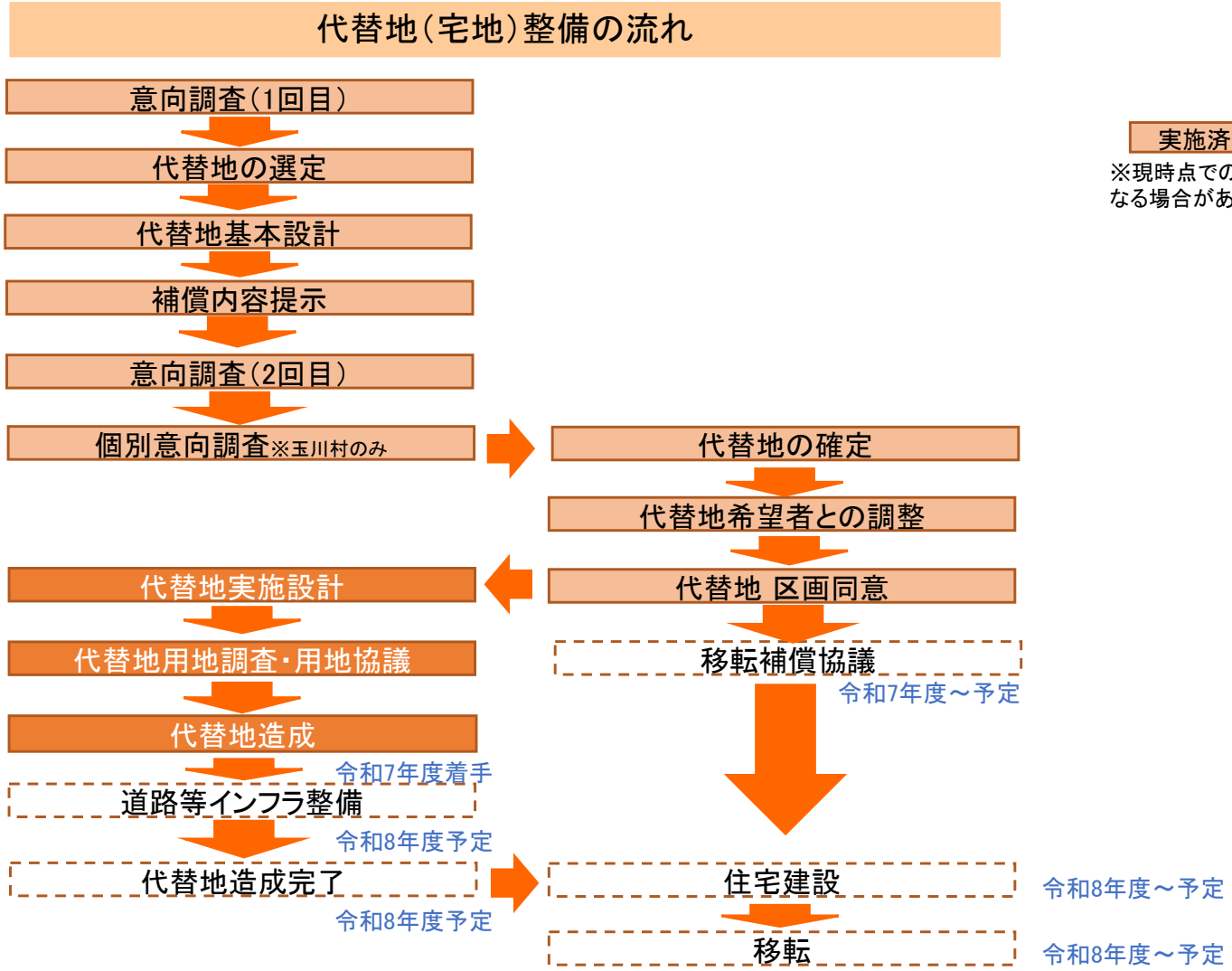
※各遊水地毎の、進捗状況の違いは農地のみ対象となる用地協議を先行して実施していたことによるもの。



注）今後の検討結果等により、変更となる可能性もあります。

代替地希望者との調整状況

〇各移転対象者の生活再建に向け、特に移転家屋数の多い鏡石町及び玉川村に、それぞれ2箇所の集団移転先の代替地を国が整備するなど、移転対象者の負担軽減に努めています。
〇これまで、対象者のへの意向確認や説明会等を行い、鏡石町については令和6年7月、玉川村については令和6年11月に全ての集団移転希望者との調整を完了し、代替地の区画割り・面積が確定しております。令和7年度には代替地の造成を行うこととしており、完了次第、順次移転頂く予定です。



実施済　実施中　実施予定

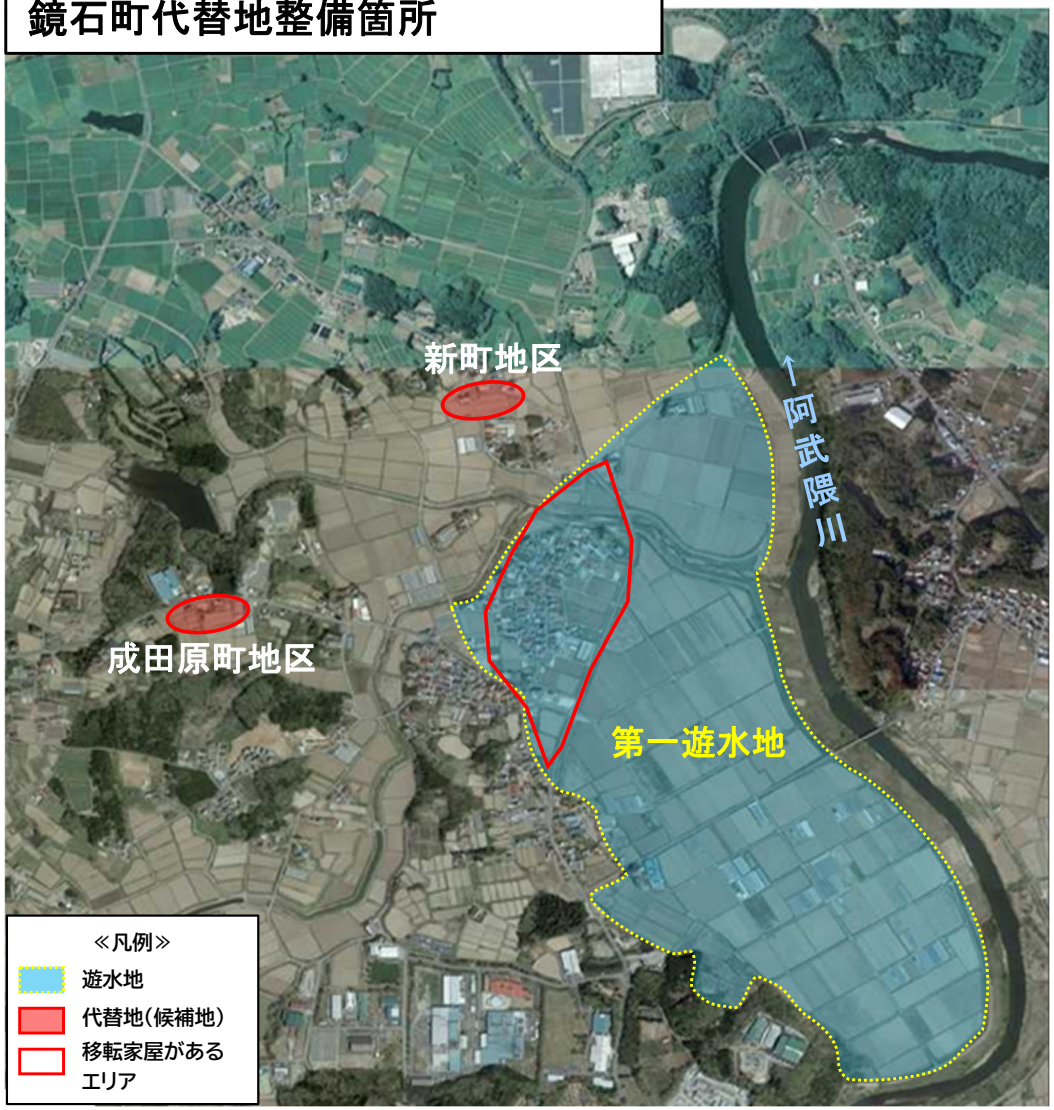
※現時点での予定工程であり、事業進捗により変更となる場合があります。

代替地希望者との調整状況

【第１遊水地（鏡石町）】 ※令和7年10月時点
- 意向調査結果より、代替地は、**新町地区、成田原町地区**の２箇所に決定。
- 代替地希望者と調整を重ね、区画割に同意を得た。（整備範囲確定）
- 代替地用地の取得完了。
- 令和7年度から造成工事に着手しており、R8年度完成予定。

【第２遊水地（玉川村）】 ※令和7年10月時点
- 意向調査結果より、代替地は、**原作田地区、稲荷畷地区**の２箇所に決定。
- 代替地希望者と玉川村との調整で区画割に同意を得た。（整備範囲確定）
- 代替地用地の取得完了。
- 令和7年度から造成工事に着手しており、R8年度完成予定。

鏡石町代替地整備箇所



玉川村代替地整備箇所



令和７年度の工事予定について

令和7年9月末時点　施工中箇所
① 鈴川橋　下部工（A1完了・A2施工中）
② 地内掘削（環境省が搬出）
③ 地内掘削（代替地へ搬出）

令和7年度着手工事（予定）
① 鈴川橋　上部工
②～③（新）成竜橋　下部工
④ 第二遊水地　排水門　　⑤ 第三遊水地　排水門

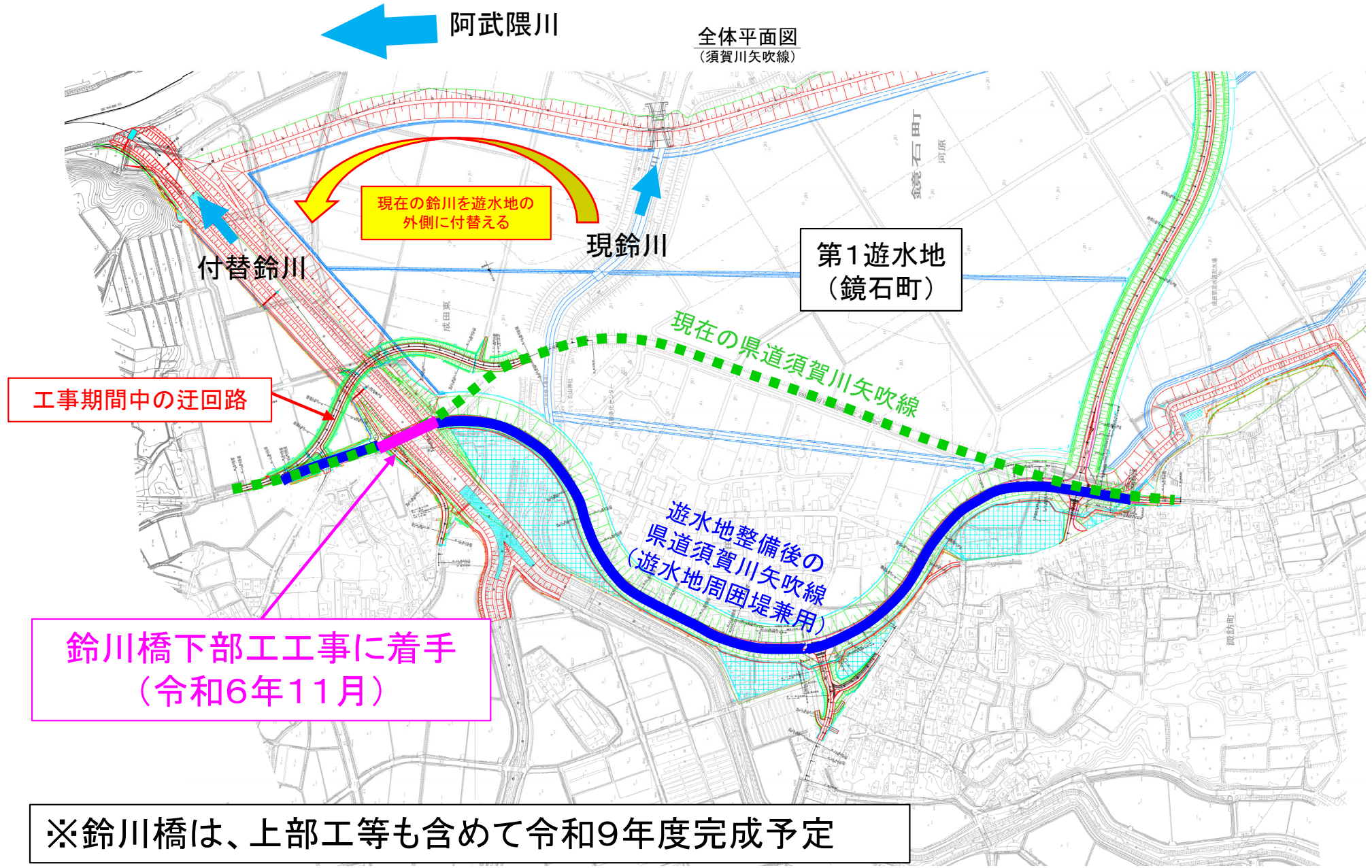
凡 例
:遊水地予定範囲
:付替道路等



注）今後の検討結果等により、変更となる可能性もあります。
注）用地の取得状況などにより、工事予定は変更となる可能性があります。

遊水地関連では初の工事「鈴川橋下部工工事」に着手

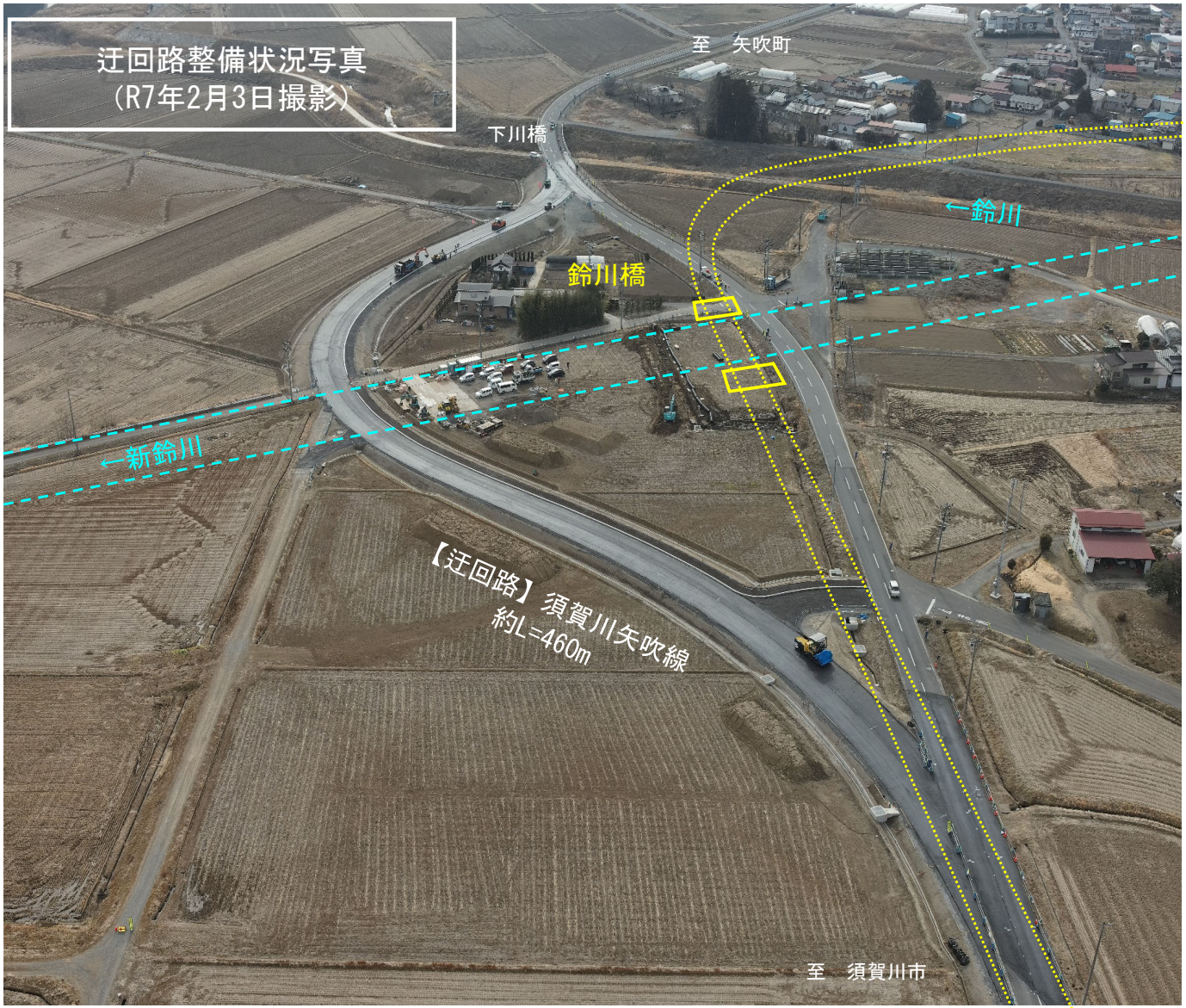
◯遊水地関連では初の工事として、令和6年11月から、支川鈴川の付替えのため新たに必要となる鈴川橋下部工工事に着手。

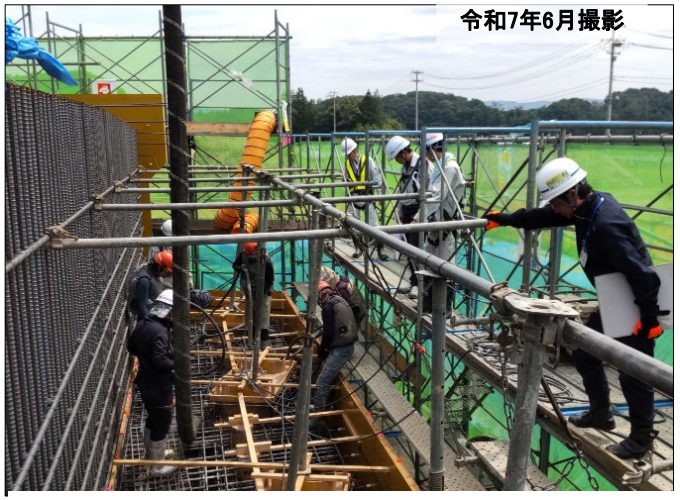


※鈴川橋は、上部工等も含めて令和9年度完成予定

遊水地関連では初の工事「鈴川橋下部工工事」に着手

◯遊水地関連では初の工事として、令和6年11月から、支川鈴川の付替えのため新たに必要となる鈴川橋下部工工事に着手。





○A1橋台（コンクリート打設状況）

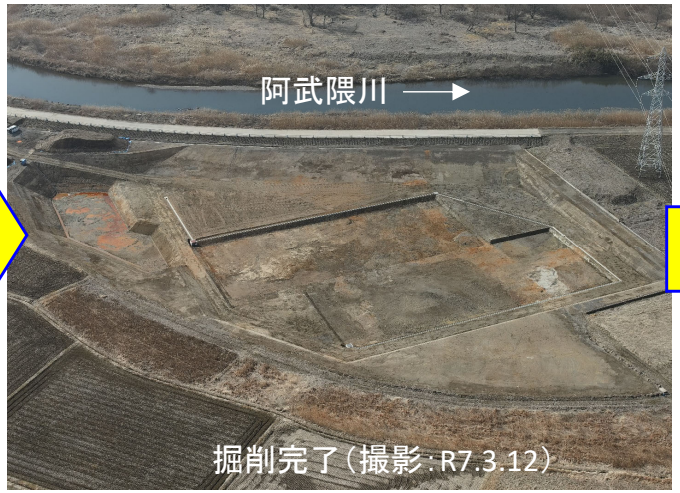


○A1橋台（コンクリート打設完了）

第２遊水地の試験ほ場　５月１５日　コシヒカリを作付け

- 第2遊水地において、用地買収済み範囲の一部を遊水地計画の掘削高（周辺地盤より約2m程度）まで掘り下げ、約42a（21a×2面）の試験ほ場を整備。
- 令和6年11月から掘削に着手し令和7年1月に完了。その後、水路整備や表土戻しなどを行い、令和7年4月に整備完了。
- 令和7年5月15日、コシヒカリの作付けを実施しました。


遊水地内掘削（撮影：R7.1.14）



掘削完了（撮影：R7.3.12）



表土戻し（撮影：R7.3.25）


作付け（撮影：R7.5.15）


作付け　（撮影：R7.5.15）

第２遊水地の試験ほ場　９月２５日　コシヒカリを収穫

- 作付け後、試験ほ場の減水深調査や稲の生育調査を実施。
- 試験ほ場の透水性（保水性）も問題なく、稲は8月迄は順調に生育していましたが、9月に入ってから稲が倒伏しているを確認。
- 倒伏による品質確保に少しの不安がよぎる中、令和7年9月25日、無事に稲の収穫を終え、その後の食味分払計による測定結果は「普通」の評価でした。
- 試験ほ場2面（42a）で、収量は約2．5t（約600kg/10a）となり、令和6年の福島県平均（569kg/10a）を上回る結果となりました。

○総括（調査協力いただいた専門家（農研機構）による所見）
- 新たに造成した水田の透水性（保水性）作業性は問題無く土壌養分量の違いは「施肥量の調整」で改善が図れる。
- 今年の調査結果からは、遊水地内でも従前の「ほ場」と大きな遜色なく耕作できるものと推測される。



作付け後、約1ヶ月経過（6月16日）





作付け後、約2ヶ月経過（7月17日）



作付け後、約3ヶ月経過（8月21日）







収穫状況（9月25日）